



No.9
2016年1月22日
発行
静岡市
平和委員会
静岡市葵区鷹匠
1-5-8
TEL 253-1854
FAX 252-0785
メール
Peace-City
@mail.707.to

オールしずおかアクション 結成

戦争法廃止をめざす運動母体。19日行動、2000万署名を担う

1月14日(木)静岡市労政会館で、「戦争法廃止！オールしずおかアクション」が

熱心な話し合いが行われ、話し合いの中で、全国総がかり行動実行委員会が呼びかけている19日行動などの宣伝署名活動や統一署名(2000万署名)などを推進する運動の母体として、標記の運動体を結成することになりました。そして様々な団体・個人にいろいろな方法で呼びかけ、運動を幅広いものにしていくことも確認されました。

**駿府城公園で
2月13日に大集会！**

かけによって、各団体の代表・個人が集まり、戦争法の廃止をめざす運動を県下で、とりわけ中部地区でどのように進めるかについて

静岡県弁護士9名、安の会、反対する静岡大学有志の会、静岡市9条の会連絡会の4者の呼び

当面する運動として、2月13日に駿府城公園で大集会・パレードを開催することを決めました。また、5月3日にも大集会を開催すること、戦争法廃止に向けた学習会を開催すること、参議院選挙に向けて「野党は共闘」を求める取り組みを進めることなどにも取り組むことになりました。

**静岡県下
50万筆をめざす！**

また、「2000万人統一署名推進アピール」も提案され、5月3日をめざして静岡県で50万筆という目標も確認されました。

平和委員会は、憲法共同センターの一員です。平和委員会の会員は、この大集



←静岡市労政会館での話し合い

会の成功、そして「オールしずおかアクション」の提起する運動の先頭に立つて奮闘しましょう。

戦争法廃止！戦争させない・9条壊すな静岡大集会

- ◆2月13日(土) 10時～ 集会/11時半～ パレード
- ◆場所 駿府城公園 東御門横広場
- ◆内容 主催者報告・参加者スピーチ・政党スピーチなど
※ビラ2万枚ほか、ブログ・フェイスブックを立ち上げ、広く宣伝する。



『魂の飢餓感』が理解・共感できるか？

沖縄辺野古古代執行訴訟の第1回口頭弁論での翁長知事の意見陳述を読んだ。

「歴史的にも現在においても沖縄県民は自由・平等・人権・自己決定権をないがしろにされてまいりました。私はこのことを『魂の飢餓感』と表現しています。」

冒頭の陳述の中の『魂の飢餓感』とは何か？

この言葉の意味を本当に理解・共感できるためには、沖縄の歴史を学ばなくてはダメだと思う。近代以降の沖縄は、本土の犠牲になり続けた歴史を持つ。島津藩の過酷な侵略・搾取、明治政府の琉球処分、太平洋戦争末期の沖縄戦、戦後の基地提供・沖縄分離論、そして新たな耐用年数200年の新基地建設などについて詳しく知ること、そしてこの間沖縄の人々はどう生きてきたのかについて想像力を及ぼすこと、そんな作業が必要だろう。

安倍首相は、新年の国会でこう言い放った。「安全保障に関わることは、一地域の選挙で決定するものではない。」「『魂の飢餓感』は、安倍首相や菅官房長官には到底理解できない言葉だと思われる。(合戸 政治)

私の年賀状



みなさんは、今年の年賀状にはどんなことを書き、知人や親戚の方々に送りましたか。私は筆が達者な方ではないので、せめて年賀状くらいは日頃無沙汰をしている方々に、思っていることや今年の決意を書くことにしています。ということ、この紙面の読者のみなさんにもお伝えします。◇「昨年は、安倍自公政権による暴走が遂に憲法を破壊し、『戦争法』を強行採決。『戦争する国』が近くなってきたと思わざるを得ないです。更にフランスのテロと報復の軍事力行使。今年は、歴史の分かれ目の年になるのではないかと思っています。平和を護り、『アベ政治を許さない』、力を合わせて頑張りたいです」◇昨日は、地域の仲間と「2000万統一署名」、山間地の集落の家々を訪問、30筆集めました。明日は19日(金)19日(土)を控えています。(新村 直樹)

◇明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお祈りします。ところで、みなさん

平和へのメッセージを語り継ぐ

良知 正美

戦後70年も経つと戦争の悲惨さの記憶が薄れて来るものです。沖繩の子供達は毎年行われる6月23日の戦没者追悼式に素晴らしい平和の詩が生まれて来るのに、本土の中からは何も生まれて来ない。これで良いのか。戦争体験者の私達が、子供達に伝えていけないからだ。憲法9条もこの殺し殺される悲惨さの中から生まれて来たのだ。体験した事には強みがある。戦争の語り部になろうと考え、朗読の会にも入って読み方の練習も始めました。地元小学校に行き、読み聞かせの仲間に入れて貰い、月一回行っております。

だが、全く戦争のことは知らないのには驚きました。一人の女の子は、わざわざ「あじがとつざいしました」と前に進み出て声掛けしてくれました。

担任の先生からは感想文が寄せられ「歴史学習が始まりましたので興味深く聞かせていただきました。遠い過去のこと自分達とは関係ないと思いがちですが、今回の読み語りで、

取り上げた本は富士の老人会が作った『奇跡の本』で日赤病院前にある楠の木のはなしです。6年生でし

今なお平和へのメッセージを語り継いでいるものがあることがわかりました。ありがとうございました。と書かれており、読んであげて良かったなと思いました。

そして、中学校

からも声がかかり9月から行く事になりました。



中学校での読み語り
《國破れて学問なし》
の感想 (中学3年)

◇戦争について知らない私でもどれだけ恐ろしい事か伝わってきました。今はとても平和だと改めて思いました。

◇戦争は怖く、やっつはいけないものと思った。◇前よりもいっそう戦争の恐ろしさが強まりました。

◇戦争の体験の話を聞き、私の心に響いて、恐ろしさを知られました。

◇戦争はやはりやっつはいけないことだと思えます。確かに政治と関連させてみると、戦争になってしまふことがあるかもしれないが、絶対に人を殺してはならないと思いた。

國破れて学問なし

陸軍曹長 池田 忠雄 命
昭和二十年七月 日
比島中部ルソン島にて戦死
山形県酒田市東中の口町出身 二十三歳

昭和十八年九月二十六日

学徒出陣する時は終に来た 徴兵猶余の停止 文科系系統の学校の閉鎖
来るべきものが終に来たのだ 吾等はペンを捨てて学業半ばにして銃を持つ 愛する祖國のために戦はねばならぬ 深海の底のやうな静けさだ さうだ總ての過去を精算して 眞の逞き日本男児となり 永遠の将来に生きねばならない 自分一個の肉体は一時的かも知らないが 自分の靈魂は人類平和を目標とする正しき民族精神の中に永遠に生きることであらう

國破れて学問なし 美しき祖國の山河なし 吾等学徒の立つべきときは今ぞ!! さうして敵と生死の一戦をまじへ断じてく 勝たねばならぬ
死ぬ前に心残りなく 故郷の空に山に河に海に遊びまはつてよく見ておかう 俺の苦しみにつけ楽しいにつけ黙示のうちに慰め励ましてくれた大自然だ 俺を清く正しく大きく育て上げてくれた美しきあの山 あの河を!!

(後略)

↑ 《國破れて学問なし》出典 『国民の遺書―「泣かずにほめてください」靖国の言乃葉100選』 小林よしのり・責任編集 産経新聞出版